



八幡小だより

北九州市立八幡小学校

校長 田頭 麗宏



月に柄をさしたらばよき 団扇かな 山崎 宗鑑



夏の暑い夜、月を見上げながら、「あの丸い月に柄をさしたらいいうちわになるだろうなあ」と考えるユーモアには思わず微笑んでしまいます。しかし、エアコンも扇風機もない約500年前の句ですから、真剣にそう感じて詠んだのかもしれない。この数日は湿度が高く、蒸し暑い日が続きましたが、我が家も「月の力」を借りることなく、快適な夜を過ごせました。

さて、1学期のまとめの月を迎えました。たった3ヶ月余りですが、子どもたち、特に1年生にとっては、著しい成長が見られた期間だったことがよく分かります。

学期末という節目を迎えるにあたり、一人一人が立てためあてをもとに、自分のどこが成長したのか、今後どんなことをがんばればいいのかを、しっかり確かめさせることが大切だと思います。16・17日には、個人懇談会が予定されています。学校と家庭の様子について情報交換する有効な場にしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

初めて学校のプールに入ったよ！

プール（水泳）学習が始まり、1年生も小学校の大きなプールに入りました。最初は少し不安そうな子もいましたが、バディを組む6年生の優しいお世話もあり、安全に楽しく学習することができました。



今週は「家庭学習チャレンジ週間」です

本校では、昨年「家庭学習チャレンジ週間」を設定しています。今年は中央中学校と連携して、年間7回実施することを、先日お知らせしました。

家庭学習の意義は、まず「定着」にあります。各ご家庭に配布している「家庭学習チャレンジハンドブック」によると、家庭学習を続けると、忘れる量を減らすことや、記憶している期間を延ばすことができるという実験結果があるそうです。

また、これからの社会を生き抜くには、「主体的に学ぼうとする姿勢」が求められます。ですから、自分で計画を立て、関心のあることを深く、また広く追究する学習姿勢が重要であり、それができる場として、家庭学習が最適なのです。



教室では頑張ることが「当たり前」になっている八幡っ子も、家庭学習が苦手だということがいくつかの調査で明らかになっています。残念なことに、宿題すらしない子どももいるようです。

今週5日まで「家庭学習チャレンジ週間」です。ぜひ、ご家庭でも子どもたちを励まし、積極的に取り組めるようご協力をお願いします。

『9年間続ける力が、自分の未来につながる』

先週末から心配された大雨は、熊本などに大きな被害をもたらしました。北九州地方は予報が外れてほとんど降らなかつたのですが、まだまだ油断はできません。一昨年、昨年と続けてこの時期に、大雨や土砂災害に見舞われたことは、記憶に新しいと思います。

本校では、さまざまな災害に備えて避難訓練を計画的に実施しています。一学期は「火災発生」を想定したものでした。また、大雨等の際に活用する「地域別集団下校グループ」を組織しました。本年度も、危機感をもって災害に備える意識を高めていきたいと考えています。

本日7月1日は国民安全の日

